

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立湊江小学校 校長 向山敦子

1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11800冊（蔵書基準冊数 8360冊）／蔵書率 141.1%（前年度 142%）									
	② 新規購入図書 319冊／廃棄図書 1264冊／増減冊数 -945冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	1.3%	0.9%	4.5%	5.5%	12.7%	5%	1.7%	8.2%	2.8%	57.3%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：月・木曜日の20分休み・昼休み（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 32.7冊（前年度：18.1冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 63.2%（前年度：71%）									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

<ul style="list-style-type: none"> ・読書の楽しさや喜びを味わわせ、意欲的に本を読もうとする態度を育てる。 →休校期間があったにも関わらず、児童一人あたりの年間平均貸出冊数は去年とあまり変わらなかった。 ・課題解決にあって、必要な情報を選択し、効果的に活用する力を育てる。 →授業で調べ学習をするときに、児童自らが本を選び、学習に役立てた。 ・読書生活の基本的な習慣を養い、生涯読書につなぐ力を育てる。 →図書館にある本はもちろん、学級文庫の本も活用し、読書する習慣が身に付いてきた。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする。 ・学校図書館の利用の仕方を知り、決まりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ・学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ・読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書的时间を使い、本を手にする機会が増えた。 ・学校図書館や学級文庫の本を利用し、全ての児童が年間一人あたり10冊以上の本を読んだ。 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書をしようとする。 ・学校図書館の利用の仕方を知り、決まりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味ある本を探して、読書することができる。 ・図鑑や化学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ・読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書的时间を使い、自分の興味がある本を探した。 ・学校図書館や学級文庫の本を利用し、全ての児童が年間一人あたり10冊以上の本を読んだ。 	

第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書をしようとする。 ・決まりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ・進んで学校図書を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ・読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習で図書館から借りた本を活用し、ノートや新聞等に分かったことをまとめた。 ・学校図書館や学級文庫の本を利用し、全ての児童が年間一人あたり20冊以上の本を読んだ。 	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書をしようとする。 ・決まりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味ある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ・辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ・読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の入り口にある月別のテーマ本を読んだり、借りたりする児童が増えた。 ・学校図書館や学級文庫の本を利用し、ほぼ全ての児童が年間一人あたり20冊以上の本を読んだ。 	
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ・決まりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、整理し発信することができる。 ・学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ・読書旬間を利用して、年間一人あたり25冊以上の本を読む
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習で図書館から借りた本を活用し、ノートや新聞等に分かったことをまとめた。 ・図書委員会の児童は、おすすめの本の紹介カード作成や、読書旬間中の図書室利用促進の活動を計画し、取り組んだ。 	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ・決まりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ・学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ・読書旬間を利用して、年間一人あたり25冊以上の本を読む
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書の授業や休み時間に、本を借りる児童が多くいた。また、学級文庫の本も活用していた。 ・図書委員会の児童は、おすすめの本の紹介カード作成や、読書旬間中の図書室利用促進の活動を計画し、取り組んだ。 	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

キッズライブラリーと、全集の一部を解体し、それぞれ分類別・作家別の棚に配架した。探しやすくなったり、手に取られるようになったりした。

【学校図書館支援員との連携・協働】

月に一度翌月の作業内容・日程等を学校図書館支援員と確認した。また授業等で使う書籍を用意してもらったり、「読書の木」（おすすめの本カードを葉に見立て幹に貼っていく）を作成したりした。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

- ・休校、子どもによってはオンライン学習期間等もあったが、児童一人あたりの年間平均貸出冊数が大幅に増えた。学校図書館支援員と連携し、図書館の本を整理したり掲示物等を作成したりし、本が手に取りやすくなった結果だと思う。
- ・図書室が解放されているのは学校図書館支援員が来ている2日間の休み時間のみだった。どうしたらもっと図書室を活用できるか考える必要がある。
- ・一人一台タブレット端末が配布されたため、調べ学習の際に本を借りて調べる子どもが減ってしまった。どう本離れの対策をしていくか、検討していきたい。

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

- ・学校図書館活用年間指導計画を教員・学校図書館支援員・図書ボランティアで共有し、その月にどの学年でどんな図書室利用指導をするのか、すぐ確認できるようにしていきたい。

7 今後の展望 —課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて—

- ・学校図書館支援員や図書ボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館作りを実践する。
- ・調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ・「読書の木」の活用や、読書旬間の取り組み等、児童が本と接する機会を増やしていく。
- ・除籍本・廃棄本を使って学級文庫を充実させていく。